

第6回

日本骨格筋電気刺激研究会
学術集会

2019年

11月2日(土)

会長：三上 容司 独立行政法人労働者健康安全機構
横浜労災病院 副院長

会場：ベルサール東京日本橋

〒103-6005 東京都中央区日本橋 2-7-1
東京日本橋タワー 5F TEL: 03-3510-9236

- ◇東京駅からお越しの場合 (JR線・丸ノ内線) …… 八重洲北口 徒歩 6分
- ◇日本橋駅からお越しの場合 (銀座線・東西線・浅草線) …… B6 出口直結
- ◇三越前駅からお越しの場合 (銀座線・半蔵門線) …… B6 出口 徒歩 3分

テーマ：「B-SES が拓く未来」

会長挨拶

第6回日本骨格筋電気刺激研究会 学術集会を2019年11月2日(土)に開催いたします。本年のメインテーマは「B-SES が拓く未来」といたしました。

超高齢社会の到来により、入院患者の多くは高齢者で占められています。運動器外傷・疾患だけでなく、他の疾患・外傷で入院する患者のADL、QOLの低下も大きな問題です。また、現在の医療制度では、ADL、QOL回復のための長期入院は難しく、退院後の通院での対応が求められます。入院・外来を通じて、医療経済的な観点からのみならず、何より患者自身、あるいは、家族のためにも、できるだけ早くADL、QOLを回復することが望ましいわけです。

B-SESは、そもそも、筋肉を電気刺激することにより筋量を増大させる、あるいは、筋力を増強することにより、患者のADL、QOLを改善することを目的として開発されました。しかし、今までの学術集会での発表、議論を通して、運動器疾患に対する効果のみならず、循環器疾患、代謝疾患、透析患者、ICU患者など、多方面にわたるB-SESの効果が確認されてきました。B-SESを活用することは、種々の疾患・外傷を抱える患者のADL、QOLの向上に役立つことが示されてきました。今後は、さらに、その応用分野が広がることが期待されます。

また、疾病・外傷の治療も大事ですが、現在の医療の大きな流れは予防医学にあります。もし、B-SESに転倒予防効果が認められ、大腿骨頸部骨折患者が減るのなら、もし、若い女性がB-SESを使うと骨粗鬆症を予防できるのなら、B-SESが一家に一台の時代が来るかもしれません。

会員の皆様、ならびに新規会員の皆様の積極的なご参加と、医師、コメディカル、研究者を問わず、各々の立場からの活発なご討議により、本学術集会が有意義な議論の場となることを期待しています。また、多くの皆様と「B-SES が拓く未来」を語りあえることを心より楽しみにしております。

第6回 日本骨格筋電気刺激研究会 学術集会
会長 三上 容司